

国語 二一六	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (送りがな)	名前	年 組 番
-----------	---------------------------------------	----	-------

基本事項確認

*「送りがな」について

漢文を訓読するために補った助詞や用言、助動詞の活用語尾などのこと。
漢字の右下にカタカナでつける。歴史的かなづかいで書く。
書き下し文に直すときは、送りがなはひらがなで書く。

送りがな

処 処 啼 鳥^ヲ 聞^ク



処 処 啼 鳥^ヲ を 聞^ク



書き下し文

*「置き字」について 訓読の時に読まない漢字のこと。

文中の【而 於】 文末の【矣 焉】 など

* 漢文中の【不^ズ 也^{ナリ} 自^リ 之^ノ】など日本語の助詞、助動詞に当たる語は、ひらがなで書く。

問題 次の漢文を送りがなに気をつけて、書き下し文に直しましょう。

例 学^{ビテ} 而 時^ニ (学びて時に)

① 吾^ガ 盾^ノ 之^ノ 堅^{キコト} ()

② 兵^{少^{ナク}} 食^{尽^ク} ()

③ 国^{破^{レテ}} 山 河 在^リ ()

④ 今 春 看^ス 又 過^グ ()

⑤ 孤 帆^ノ 遠 影 碧 空^ニ 尽^キ ()